

6年	家庭	「朝食から健康な1日の生活を」 10時間	概要	学習ナビ、学習材、学習環境、 目指す児童の姿、評価	適 ◎
児童の様子		<ul style="list-style-type: none"> ・全員が一人で調理するという目標の提示 ・単元末には学んだことを報告会で発表する設定 ・学習ナビ（全員配布） 学習材の明記、スプレッドシートを配布することでデジタルワークシートやQRコンテンツに直接アクセスできるようにした。 ・ワークシート（自由に使用） ・掲示用ワークシート（全員配布） ・デジタルワークシート ・QRコンテンツ ・家庭科室利用表 日時、枠を明示することで全員が実習可能とするとともに、計画性をもって進めないといけないことを理解することに繋げる <ul style="list-style-type: none"> ・書いていない児童への声掛け ・空いている枠があれば2度の実施も可能 ・いためる（＝火にかけ、絶えずかき混ぜ、短時間でできる調理法）料理であれば良い、材料を自分で用意する条件 自分の力に合った料理にでき、家庭の協力を得やすく、アレルギー対応も容易となる。 ・事前の保護者への周知、学習ボランティアの募集 ・火事、火傷、怪我の防止、衛生面の指導（一斉＋実習毎時） ・実習中、良い活動の実況＝周知、気付きに繋げる。 ・昨年度の実態から、安全面で不安のある児童、困り感が大きそうな児童は声をかけやすい配置にしたり、学習ボランティアを張り付きにしたりした。 ・評価テストは定着を図る意図もあり、知識・技能面はフォーム、思考力・判断力・表現力はプリントを用意した。 	手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスを考慮して朝食メニューを考える課題 C 児童1%（1名）他はB以上 ・実習時まで手順を十分に検討していなかったり、考えておいても確認しながら進めなかったりする児童 最初の集団 15% 2名／13名 2番目以降 15% 10名／66名 →途中から全員家庭科室周辺で学習するよう変更したが、「手順を確認すべき」であるという必要性を事前に理解する手立てがなかったことから割合に変化がなかったと考える。この数値は、慣れている作業でなかったとしても、手順を確認しながら進めることができない児童がいるという実態を表していると言える ・焼く調理、サラダなど熱を通さない調理で計画していた児童 4%（実習前に指導、内容を変更） ・実習中、教室で自分の学習を進める際、おしゃべりなどをしてしまう児童もいた（他児童からの報告） ・身だしなみが整わなかった児童 5% ・材料が適量でなかった児童 5% ・フライパンを十分に熱しないで調理し、食べられない出来となった児童 1名 ・いためる順が間違っており、十分に加熱しなかったため味に影響が出た児童 1名 ・期間内に実習を終えた児童 100% ・事前や事後に家庭で、または2度実践することで自ら改善を図った児童 52% ・報告会での発表は全員ができた。どちらの学級も2時間必要となった。 ・1組は実習が早く進み、63%が資料ありで発表 ・2組は実習の開始が遅く、1名のみ資料ありで発表 	

<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全員一人で調理実習ができた。 ・ どの児童も、自己の実践の結果や他児童の実習の様子から学び、うまくいったことや反省点、今後取り組みたいこととして言語化することができた。特に、国語や外国語などで発表する活動がある際に必ずつまずく児童も（準備の程度に個人差はあれ）スムーズに発表することができたことは大きい。 ・ 単元末の報告会を意識して取り組めた児童が多くいた（1組）。結果、報告会で各自の家庭での実践についても報告され、互いの興味関心を刺激することができた。 ・ 報告会は長時間に渡ったが、互いの発表をよく聞き、振り返りに気付いたことや確信をもったことを書くなど学びを深めていた。 ・ 用具の数や材料などの心配事が減った。 ・ 評価テストや報告会の実施で新たな課題が分かった。 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知識・技能の評価テストの正答率が68%と低かった。週案の関係で報告会（発表）の前の実施となったことも関係していると考えられる。また、実習の方に意識が向かいすぎたのかもしれない。 ・ 一人一人が学習内容を理解するために適切に書くこと（まとめる、考えるなど）が必要なのではないか。 ・ 発表時間は制限するべきであった。 ・ 全員が必ず複数の野菜を使用するという条件をつけると、「いためる順序」への理解が確実にになったのではないか。 ・ 今回のような実践の場合、「単元内自由進度学習」（2科目、TT）で行うことがベストではないか。環境的に無理があった。
---	---

